

# 2005 年度 (2006 年) 人文地理学会大会 協議員会・総会資料

2006.11.11 近畿大学

1. 2005 年度(2006 年)会務報告 (資料 1) . . . . .	1
2. 2005 年度(2006 年)決算案 (資料 2) . . . . .	8
3. 2006 年度(2007 年)予算案 (資料 3) . . . . .	9
4. 第 6 回人文地理学会学会賞候補者 (資料 4) . . . . .	10
5. 2006 年度(2007 年)人文地理学会役員案 (資料 5) . . . . .	16
6. 人文・経済地理及び地域教育研連学会連携協議会資料(資料 6) . . . . .	17
7. 日本学術会議人文・経済地理と地域教育分科会資料(資料 7) . . . . .	19
8. 文献目録編集委員会報告 (資料 8) . . . . .	22
9. バックナンバー電子ジャーナル化資料(資料 9) . . . . .	25

(別紙)高等学校地歴科の履修形態に対する人文地理学会からの要望書

## 2005 年度(2006 年)会務報告

**I 庶務委員会**

## (1) 会員数の動向 (2006.9.30 現在)

2005 年度会員数の動向

- ① 新入会員 47 名(昨年度 54 名、一昨年度 68 名)
- ② 退会会員 55 名(昨年度 82 名、一昨年度 44 名)うち逝去者 2 名(昨年度 7 名、一昨年度 2 名)
- ③ 会員の除籍 55 名
- ④ 現在の個人会員 1528 名(過年度 2004 年度 1587 名、2003 年度 1609 名 2002 年度 1629 名)  
国内会員 1480 名(昨年度 1543 名、一昨年度 1566 名)、海外会員 48 名(昨年度、一昨年度 44 名)

## (2) 交換・受贈雑誌の動向(2006 年 10 月 6 日現在)

- ① 国内交換雑誌 53 誌(昨年度より 1 減)
- ② 国外交換雑誌 23 誌(昨年度より 1 減、アジア・太平洋圏 3 誌を含む)
- ③ 受贈単行本類 41 冊(昨年度より 4 増)
- ④ 受贈雑誌・別刷 雑誌 160 誌(昨年度より 33 増) 別刷 36 部 (昨年度より 13 増)

## (3) 2005 年度理事会・評議員会の開催

2005 年 12 月 12 日 理事会 12 月 17 日 評議員会  
 2006 年 4 月 4 日 理事会 4 月 8 日 評議員会  
 2006 年 6 月 28 日 理事会 7 月 1 日 評議員会  
 2006 年 10 月 11 日 理事会 10 月 14 日 評議員会

## (4) 学術会議関係

人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会の設置 (資料 6)  
 地域研究委員会に人文・経済地理と地域教育分科会の設置 (資料 7)

## (5) 特別委員会

選挙管理委員会(松田隆典委員長)  
 地理学文献目録第 12 集編集委員会(河原典史委員長) (資料 8)

## (6) 『人文地理』バックナンバーの電子アーカイブ化

独立行政法人科学技術振興機構による平成 18 年度の電子アーカイブ化対象誌として『人文地理』が選定された。  
 (資料 9)

## (7) 地理教育関係での活動について

指導要領についての文部科学省への陳情 (別添資料)

**II 会計委員会**

## (1) 会費納入状況

2005 年度 15,984,750 円 (9 月末の滞納者 165 名)  
 2004 年度 16,081,675 円 (9 月末の滞納者 197 名)  
 2003 年度 16,498,500 円  
 2002 年度 16,937,500 円  
 2001 年度 17,418,780 円

2000年度 17,019,300円

1999年度 17,993,520円

(2) 2005年度(2006年) 補助金関係

日本学術振興会「科学研究費補助金(研究成果公開促進費)」 200万円  
文部科学省の助成(セミナー)は採択されず。

(3) 学会財政の安定化について

①収入増に向けての課題

- ・未納者への督促の徹底
- ・一般会員の会費見直し 等

②支出削減に向けての課題

- ・雑誌生産費の圧縮(印刷費の削減) 等

### Ⅲ 編集委員会

(1) 雑誌刊行・編集状況

巻号	論説	展望	研究ノート	学界展望	その他	頁数
58巻1号	2(1)		3			124
58巻2号	1	1	3			106
58巻3号	1			25		106
58巻4号	2	1	1			96
58巻5号	2	1	2			?
58巻6号						?
合計						

巻号	論説	展望	研究ノート	学界展望	その他	頁数
57巻1号	2	1	1			126
57巻2号	3		1(1)			106
57巻3号	2		1	25		120
57巻4号	2		3			106
57巻5号	2	1(1)	3(1)			110
57巻6号	5(5)		2			120(+12)
合計	16(5)	2(1)	11(2)	25		688(+12)

巻号	論説	展望	研究ノート	学界展望	その他	頁数
56巻1号	2		2			112
56巻2号	2		3			110
56巻3号	1		2	25		108
56巻4号	1	1	3			118
56巻5号	2	2(1)	2(1)			110
56巻6号	5(5)		2			110(+10)
合計	13(5)	3(1)	14(1)	25		686(+10)

参考 第55巻 総頁数 619(+8) 第52巻 総頁数 638(+4) 第49巻 総頁数 626(+4)  
 第54巻 総頁数 626(+6) 第51巻 総頁数 636(+4) 第48巻 総頁数 628(+4)  
 第53巻 総頁数 612(+4) 第50巻 総頁数 640(+4) 第47巻 総頁数 614(+4)

(2) 次期編集委員会申し送り事項

1) 論文のオリジナリティと著作権

2) Editorial Adviser

- 崔 功豪 56-5 2003 年の展望  
Winfried Fluchter 執筆依頼するも対応なし 今年もう一度依頼中  
H.Todd Stratford 57-5 2004 年の展望  
(P.P.Karan 55-5 2002 年の展望)  
(Jean-Robert Pitt 執筆せずに終了)

3) 英文要旨校閲体制

Dennis Rumley 氏\*の多忙その他の影響 簡便な校閲  
\*第 51 巻より担当

4) 評価の基準および、投稿原稿の不備（特に頁数超過）による事前返却

5) 学界展望

① 科研報告書などの公開の可能性を積極的に探り早急に対応

② 項目名および配列順の変更

若干の変更を実施 第 59 巻

地域研究・地誌 → 地誌・地域研究

流通・サービス → 流通・交通・サービス

観光・交通 → ツーリズム

地図（近代以前） → 地図

次期編集委員会ワーキンググループでの検討 配列その他

6) 第 58 巻第 5 号および第 58 巻第 6 号の編集状況

掲載原稿の不足

7) 英文特集

アジア諸国における人文地理学の展開を来年(第 59 巻)も継続

58-6 Professor Nora Chiang (台湾大学)

Professor Victor Savage (国立シカゴ大学)

白善恵(ベグ・ソハ) (京畿道開発研究所助手)

NGUYEN Cao Huan, TRAN Anh (ベトナム国立大学)

呉必虎(Wu Bihu) (北京大学旅游研究計画センター)

59-6 インド

タイ

日本

マレーシア

インドネシア その他?

8) 超過頁の計算

9) 委員会内会計担当

10) 図表のサイズ 特に二段の場合、機械的に左右ないし天地一杯にはしない

超過料金

図としての最適の大きさ

## IV 集会委員会

### (1) 大会

2005年 九州大学・六本松地区（福岡市） 11月12日（土）～14日（月）

特別研究発表(2会場)3件(1件発表中止)

一般研究発表計90件(うち口頭発表(5会場)81件, ポスター研究発表9件)

参加者399名, 懇親会160名(参加者の40.1%), 巡検(柳川・九州国立博物館)19名

公共交通機関利用

2006年 近畿大学・本部（東大阪市） 11月11日（土）～13日（月）

特別研究発表(2会場)4件

一般発表81件(うち口頭発表(5会場)77件, ポスター発表4件(1会場))

エクスカージョン(堺と大阪市南部)「政令指定都市界の歴史とまちづくりの課題

—チンチン電車で堺環濠都市と上町台地南端部をめぐる—」公共交通機関利用

### (2) 例会

①第256回 2005年12月3日（土） 14時～17時 こうべまちづくりセンター

共催：兵庫地理学協会

テーマ：阪神・淡路大震災復興10年—その軌跡の検証—

発表3件とコメント, 参加者 32名

②第257回 2006年4月15日（土）14時～17時 同志社女子大学・今出川川学舎

テーマ：古写真が語る近代

発表3件, 滋賀・京都の古写真展示等, 参加者 56名

③第258回特別例会 2006年6月10日（土）・11日（日）14時～17時30分

中部大学・人文学部（春日井キャンパス）

共催：名古屋地理学会

発表4件とエクスカージョン(名古屋市東部の都市化とまちづくり)

参加者64名, 懇親会43名, 巡検33名(+現地説明5名)

過去3回の例会平均参加者数51名

<予定>

④第259回 2006年12月2日（土）14時～17時 大阪経済大学（大隅キャンパス）

会場：大阪経済大学（大隅キャンパス）B館21号室 大阪市東淀川区大隅2-2-8

テーマ：産業集積地域の課題 —中小製造企業の存立基盤—

1. パリのファッション・アパレル産業のグローバル化の進展  
……………立見淳哉（大阪市立大学・大学院創造都市研究科）
2. 取引環境変化と技術基盤—大阪の素形材関連産業のケース—  
……………江頭寛昭（大阪府立産業開発研究所）
3. 工芸品産地の存立基盤に関する一考察  
……………初沢敏生（福島大学・人間発達文化学類）

### (3) 研究部会（以下の\* は部会アワーを示す）

継続3, 新規1 (地理教育研究部会) の計4研究部会 (任期2年) が2005年総会で承認された。

**地理思想研究部会** (代表世話人 大城直樹)

- ①第83回\* 2005年11月12日(土) 九州大学・六本松地区 発表1件, 参加者39名
- ②第84回 2006年2月18日(土) キャンパスプラザ京都 発表1件, 参加者48名
- ③第85回 2006年7月8日(土) 大阪市立大学・医学部医療研修センター 発表2件, 参加者37名
- ④第86回 2006年9月30日(土) 京都大学・総合博物館セミナー室 発表2件, 参加者16名
- ⑤第87回\* 2006年11月11日(土) 近畿大学・本部(東大阪) キャンパス 発表1件

**歴史地理研究部会** (代表世話人 藤田裕嗣)

- ①第101回\* 2005年11月12日(土) 九州大学・六本松地区 発表1件, 参加者15名
- ②第102回 2006年3月11日(土) 下三橋遺跡発掘調査現場(大和郡山市) 発表1件, 参加者9名
- ③第103回 2006年7月15日(土) 神戸大学・文化科学研究科 発表1件, 参加者16名
- ④第104回 2006年11月4日(土) 佛教大学・四条センター発表1件, 見学会踏査, 参加者19名
- ⑤第105回\* 2006年11月11日(土) 近畿大学・本部(東大阪) キャンパス 発表1件

**都市圏研究部会** (代表世話人 伊藤 悟)

- ①第16回\* 2005年11月12日(土) 九州大学・六本松地区 発表1件, 参加者25名
- ②第17回 2006年5月20日(土) キャンパス・イノベーションセンター(大阪市) 発表3件 参加者23名
- ③第18回 2006年7月29日(土) 京都教育大学・藤森キャンパス 発表2件 参加者18名
- ④第19回\* 2006年11月11日(土) 近畿大学・本部(東大阪) キャンパス 発表1件

**地理教育研究部会** (代表世話人 岩本廣美)

- ①第1回\* 2005年11月12日(土) 九州大学・六本松地区 発表2件 参加者21名
- ②第2回 2006年2月18日(土) 奈良県立図書館 発表2件・講演1件, 参加者37名
- ③第3回 2006年5月19日(金) 大阪教育大学・天王寺キャンパス 発表3件, 参加者37名
- ④第4回 2006年7月2日(日) 岡山大学・津島キャンパス シンポジウム(地域地理科学会と共催) 発表3件, 参加者48名
- ⑤第5回 2006年8月18日(金) 西宮香風高校 巡検, 講演1件, 発表3件等, 参加者51名
- ⑥第6回\* 2006年11月11日(土) 近畿大学・本部(東大阪) キャンパス 発表1件

(4) 今後の予定

2007年4月14日(土) 第260回例会(近畿圏内で開催予定)

2007年6月30日(土)～7月1日(日) 第261回特別例会 <従来よりは遅い>

敦賀市で開催 研究発表, エクスカーション, 共催: 福井県地理学会

2007年11月17日(土)～19日(月) 人文地理学会大会 <従来よりは遅い>

関西学院大学(西宮市)で開催, 19日(月)はエクスカーションを予定

(5) 特記事項と今後の課題

1. 大会研究発表

1) 大会研究発表者の増加への対応

1人25分の発表時間を確保すると5会場ではほぼ限界, 大学院生の研究発表増加

近畿圏以外での開催による会員サービスとそれに伴う問題(3年に1度)、開催校の負担軽減

発表要旨集の大判化と記載量の増加

2) 研究発表の国際発信→J-Stageへの登録の改善

3) 会費未納者への発表の制限

4) スライドプロジェクター, OHPの使用の激減→PCプロジェクターへの全面移行

5) エクスカーション参加者の低迷→公共交通機関利用によるリスクの回避, 若手への勧誘

6) ポスター研究発表の活性化

## 2. 例会の活性化

テーマの設定, 参加者の増加, 一般参加者へのアピール・広報, ゲストスピーカー, 共催の模索

## 3. 研究部会の活性化

自由なテーマ設定, ゲストスピーカー, 国際交流, 現地見学, ホームページの活用, 学際交流

# V 企画委員会

## (1) 地理学公開セミナー

10月21日(土) 13時30分~17時30分

会場: 大阪市立大学文化交流センター(大阪駅前第二ビル6F)

テーマ: 「福祉、まちづくり、地理学」

講演: 成田孝三・中嶋陽子・ありむら潜・佐々木敏明

## (2) GIS Day in Kansai 2006

8月29日(火) 10時15分~17時

会場: 立命館大学衣笠キャンパス

テーマ: 「GISで支える地域の安全・安心」

講演: 浦川豪・飯田英樹・谷口育史・中谷友樹

実習: GISを利用した安全マップ作成・ArcGIS体験セミナー・モバイルGIS

## (3) GIS技術資格協会(仮)設立準備会

9月26日(火) 14時~16時

会場: 国際航業(株)本社

設立準備に関する報告があり、当面地理情報システム学会を中心に運営を進めていく方針が示された。

## 2005 年度 決算(案)

## 【運営費会計】 &lt;収入の部&gt;

科目	05 年度予算	05 年度決算	充足率	差額
会費	¥17,000,000	¥15,984,750	94.0%	¥-1,015,250
出版物売上	¥1,100,000	¥1,074,600	97.7%	¥-25,400
雑収入	¥100,000	¥87,831	87.8%	¥-12,169
受取利息	¥10,000	¥1,246	12.5%	¥-8,754
未払い費用	¥300,000	¥300,000	100.0%	¥0
研究成果公開促進費	¥2,000,000	¥2,000,007	100.0%	¥7
計	¥20,510,000	¥19,448,434	94.8%	¥-1,061,566

## 【運営費会計】 &lt;支出の部&gt;

科目	05 年度予算	05 年度決算	充足率	差額
雑誌生産費	¥7,700,000	¥7,570,906	98.3%	¥-129,094
(超過頁課金)		(¥-140,000)		
編集費	¥850,000	¥659,622	77.6%	¥-190,378
雑誌発送費	¥900,000	¥963,771	107.1%	¥63,771
集会費	¥350,000	¥350,000	100.0%	¥0
大会開催費	¥900,000	¥729,930	81.1%	¥-170,070
研究部会運営費	¥240,000	¥239,660	99.9%	¥-340
給料手当	¥4,500,000	¥4,483,411	99.6%	¥-16,589
保険料	¥600,000	¥541,887	90.3%	¥-58,113
役務費	¥80,000	¥105,480	131.9%	¥25,480
旅費・交通費	¥350,000	¥281,178	80.3%	¥-68,822
通信費	¥350,000	¥301,793	86.2%	¥-48,207
啓発事業費	¥250,000	¥182,874	73.1%	¥-67,126
顕彰事業費	¥110,000	¥111,430	101.3%	¥1,430
広報事業費	¥50,000	¥0	0.0%	¥-50,000
会合費	¥200,000	¥115,480	57.7%	¥-84,520
選挙費	¥200,000	¥200,849	100.4%	¥849
選挙費積立金	¥0	¥0		¥0
諸印刷費	¥50,000	¥50,800	101.6%	¥800
名簿作成発送費	¥280,000	¥481,937	172.1%	¥201,937
名簿作成発送費積立金	¥0	¥0		¥0
文献目録作成補助費	¥250,000	¥250,000	100.0%	¥0
備品費	¥300,000	¥251,014	83.7%	¥-48,986
備品費積立金	¥100,000	¥100,000	100.0%	¥0
消耗品費	¥120,000	¥109,149	91.0%	¥-10,851
機械借上費	¥120,000	¥113,216	94.3%	¥-6,784
室料(家賃)	¥1,500,000	¥1,302,210	86.8%	¥-197,790
雑損	¥10,000	¥5,840	58.4%	¥-4,160
予備費	¥150,000	¥57,063	38.0%	¥-92,937
計	¥20,510,000	¥19,559,500	95.4%	¥-950,500

収支差額	¥0	¥-111,066
------	----	-----------

(04 年 : ¥736,453)

\*05 年度資金会計の期首・期末差額に預り金を加算した額と収支差額とが一致している。



【資金会計】

科目	05 年度期首	05 年度期末	06 年度期首
運営資金 <sup>1)</sup>			
振替貯金	¥7,991,084	¥8,956,365	¥8,956,365
普通預金	¥279,744	¥1,058,655	¥1,058,655
通常貯金	¥5,175,319	¥3,814,426	¥3,814,426
現金	¥197,273	¥12,303	¥12,303
定期預金 <sup>2)</sup>	¥2,271,465	¥2,272,410	¥2,272,410
保証金	¥1,910,000	¥1,400,000	¥1,400,000
未払い費用(選・名・備)	¥300,000	¥100,000	¥100,000
計	¥17,524,885	¥17,414,159	¥17,414,159
期首期末差額		¥-110,726	
所得税納付に伴う預り金 <sup>3)</sup>	¥5,500	¥340	¥-340

1) 運営資金の利息・利子は「収入の部」の受取利息に計上。 2) 05 年度期末額には定期預金の1年分の利子 945 円を加算してある。 3) 振替貯金に含まれる。

資料 3

2006 年度予算(案)

<収入の部>

科目	06 年度予算
会費	¥16,500,000
出版物売上	¥1,000,000
雑収入(受取利息を含む)	¥100,000
未払い費用	¥100,000
研究成果公開促進費	¥2,000,000
計	¥19,700,000

<支出の部>

科目	06 年度予算
雑誌生産費	¥7,500,000
(超過頁課金)	
編集費	¥800,000
雑誌発送費	¥1,000,000
集会費	¥350,000
大会開催費	¥900,000
研究部会運営費	¥240,000
給料手当	¥4,500,000
保険料	¥600,000
役員費	¥80,000
旅費・交通費	¥300,000
通信費	¥300,000
啓発事業費	¥250,000
顕彰事業費	¥120,000
広報事業費	¥50,000
会合費	¥150,000
選挙費	¥0
選挙費積立金	¥100,000
諸印刷費	¥60,000
名簿作成発送費	¥0
名簿作成発送費積立金	¥250,000
文献目録作成補助金	¥250,000
備品費 <sup>1)</sup>	¥200,000
備品費積立金	¥100,000
消耗品費	¥120,000
機械借上費	¥120,000
室料(家賃)	¥1,200,000
雑損	¥10,000
予備費	¥150,000
計	¥19,700,000
収支差額	¥0

1) 備品費積立金(05年度分)100,000円を含。

## 第 6 回人文地理学会学会賞候補者について

### A 部門 学術著作部門

候補者：森川 洋

対象著作：『人文地理学の発展—英語圏とドイツ語圏との比較研究—』  
古今書院、2004 年

### B 部門 一般著作部門

候補者：加藤政洋

対象著作：『花街—異空間の都市史—』朝日新聞社 2005 年

### C 部門 (2 点) 『人文地理』掲載の論文部門

候補者：荒井良雄

対象論文：「情報化社会とサイバースペースの地理学—研究動向と可能性—」  
『人文地理』第 57 巻第 1 号、2005 年

候補者：村中亮夫・寺脇 拓

対象論文：「表明選好尺度に基づいた里山管理の社会経済評価—兵庫県中町奥中「観音の森」  
周辺住民の支払意思額と労働意思量に着目して—」  
『人文地理』第 57 巻第 2 号、2005 年

(寺脇拓氏は非会員)

## 2006 年度(2007 年)人文地理学会役員(案)

## (1) 会長

金田章裕

## (2) 評議員(20 名)

生田真人 石川義孝 伊東 理 内田忠賢 大城直樹 金坂清則 古賀慎二 高橋誠一  
富田和暁 野間晴雄 長谷川孝治 久武哲也 藤井 正 藤田裕嗣 水内俊雄 山崎孝史  
山田 誠 山野正彦 吉越昭久 吉田容子

## (3) 協議員(50 名)

北海道・東北地区: 岩鼻通明 氷見山幸夫

関東地区: 青山宏夫 石井英也 小田宏信 小田匡保 小野寺淳(茨城大学) 熊谷圭知 杉浦芳夫

田邊 裕 田林 明 千葉立也 戸所 隆 松原 宏 水岡不二雄 水野 勲 山田晴通 若林芳樹

中部地区: 有蘭正一郎 岡本耕平 神谷浩夫 中島弘二 林 上

近畿地区: 秋山元秀 碓井照子 香川貴志 川端基夫 小林 茂 米家泰作 島田周平 島津俊之

千田 稔 田中和子 田和正孝 堤 研二 戸祭由美夫 長尾謙吉 藤巻正己 松本博之

三木理史 水田義一 矢野桂司

中国・四国地区: 内田和子 岡橋秀典 金 \_ 哲 友澤和夫 由井義通

九州地区: 遠城明雄 野澤秀樹 平岡昭利

## (4) 監査(2 名)

千田 稔 野澤秀樹

## (5) 委員会理事・委員

庶務 [理事] 内田忠賢 [留任] 水谷彰伸 [新任] 米家泰作 吉田道代

会計 [理事] 富田和暁 [留任] 山神達也 [新任] 松岡恵悟

編集 [理事] 水内俊雄 [留任] 石\_ 研二 大平晃久 川口 洋 酒井高正 佐野静代 高山正樹 福田珠己

[新任] 池谷和信 大城直樹 香川雄一 小島泰雄 辰己 勝 田和正孝 長尾謙吉 中川聡史

松本博之

集会 [理事] 生田真人 [留任] 山本俊一郎 [新任] 土平 博 野尻亘 渡邊秀一

企画 [理事] 長谷川孝治 [留任] 矢嶋 巖 [新任] 加藤政洋 根田克彦 濱田琢司